



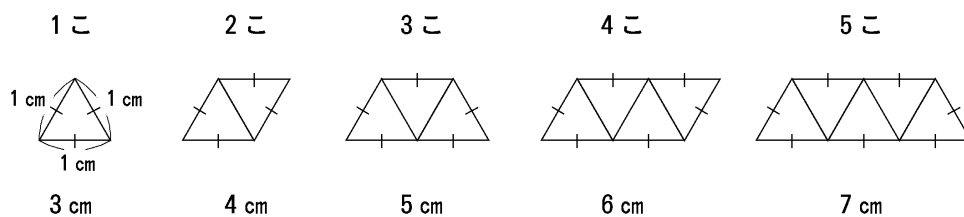
小 / 算数 / 4年 / 数量関係 /  
変わり方調べ / 理解シート

正三角形をつないだとき，数とまわりの長さの<sup>かんけい</sup>関係は，どうなるの



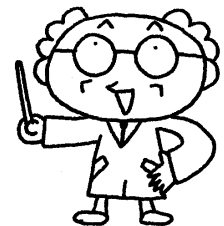
1辺が1cmの正三角形をつないだとき，正三角形の  
数とまわりの長さの<sup>かんけい</sup>関係を見つけよう。

- ① 正三角形を1こ，2こ，3こ，4こ，5こ，とつないで，まわりの長さを求め，それを表にかきます。



正三角形 (こ)	1	2	3	4	5	いつも 2大きい
まわりの長さ(cm)	3	4	5	6	7	

まわりの長さだから，—のついた辺を数えればいいんだよ。



- ② 上の表から，まわりの長さは，正三角形のこ数より，いつも2大きくなっているのがわかります。正三角形のこ数を□こ，まわりの長さを○cmとして，□と○の関係を式に表します。

**大切!**  $\square + 2 = \bigcirc$  または，  $\square - \bigcirc = 2$

- ③ 表を横にみたときの決まりは，次のとおりです。

**おぼえておこう** 正三角形のこ数が1こずつふえると，まわりの長さも1cmずつふえます。

- ④ □が6のとき，○は8になります。

$\square + 2 = \bigcirc$  の□に6をあてはめます。

$$\begin{array}{ccccccc} ( & \square & + & 2 & = & \bigcirc & ) \\ & \downarrow & & \downarrow & & & \\ & 6 & + & 2 & = & 8 & \end{array}$$

□と○の差は2で，一定なんだよ。おぼえてね。

